

北九州市学校給食審議会議事概要

- 1 会議名 第1回北九州市学校給食審議会
- 2 議題 給食の状況について
- 3 開催日時 平成30年1月31日(水) 15:00~15:45
- 4 開催場所 小倉北区役所庁舎東棟8階 811会議室

5 出席者氏名

[委員] (12名: 順不同、敬称略)

佐藤茂、天本祐輔、伊藤宏之、白水京子、荒木裕子、多田政博、村島永俊、脇 文子、高田利弘、諸藤貴子、淵上瑞恵、三船里佳

[事務局] (7名)

学校支援部長、学校保健課長、ほか関係職員

6 議事要旨

◆「給食の状況」について事務局より説明。

- ◇委員 ・給食アンケートはどこの学校を対象に実施しているのか。
・1年目だけでなく、その後はアンケートをしていないのか。何年かに1度、アンケートを実施してもいいのではないか。
- ◆事務局 ・給食調理業務の新規民間委託校を対象に実施している。
平成19年度まで、毎年実施していたが、委託校数が増えてきたことから、現在は、新規委託校のみ実施している。
- ◇委員 ・委託業者は何社あるのか。
・アンケートの対象になる業者に偏りはないのか。
- ◆事務局 ・現在18社あり、複数校受託している業者が15社ある。多いところで、17校受託している。いろいろな会社が新規委託校を受託しているので、特に偏りなどはないと考えている。
- ◇委員 ・レシピコンクールの献立に「ロールキャベツ風」というものがあるが、生徒がこれを考えてきたのか？
- ◆事務局 ・生徒が考案したもの。大量調理向けに、ロールキャベツをアレンジしたもので、味つけはロールキャベツで、具材は細かく切っている。

- ◇委員 ・野菜が高騰しているが、給食は全て北九州市産のものを使っているのか。
- ◆事務局 ・できるだけ市内産のものを使用するように努めているが、給食で使用するには生産量が足りないため、北九州市産の次は福岡県産、その次は九州産と近い産地のものを使うようにしている。
- ◇委員 ・残食で残ったものは堆肥にしていると聞いたことがあるが、今はどうか。
- ◆事務局 ・現在は、則松小でのみ実施している。
- ◇委員 ・給食協会の収支を見たが、給食を実施していくにはきついのではないかと。消費税 10%の増税を見据えて、給食費改定について、どこかで決断しないといけないだろう。
- ◆事務局 ・平成 26 年度の給食費改定以降、食材の価格が上昇しているが、献立内容を工夫してやりくりしている。平成 31 年 10 月には消費税が増税となることから、給食費改定について検討しなければならないと考えている。
- ◇委員 ・献立で、うどんとパンの組み合わせがあるが、合わないのではないかと。
- ◆事務局 ・中学校は量の少ない米飯にするが、小学校は栄養面を考えると、この組み合わせになる。
- ◇委員 ・牛乳は毎日あるのか。ご飯と牛乳の組み合わせは合わないのではないかと。
- ・子ども達は、抵抗なく、牛乳を楽しみにして飲んでいる。
- ・北九州市では牛乳を購入する家庭が減少していると聞いたことがある。給食で牛乳を飲まないでカルシウムの摂取が難しい。
- ◆事務局 ・成長期の子どもに必要なカルシウムを摂るには牛乳が最適であり、牛乳以外で摂るには、片手いっぱい「いりこ」を毎日食べなければならない。それは現実的に難しいことから、牛乳は必要であると考えている。
- ◇委員 ・小学校と中学校で献立が違うときがある。理由があるのか。
- ◆事務局 ・ベースは同じであるが、栄養面を考慮し、中学校では量を多くしたり、一品多くすることで調整している。
- ◇委員 ・委託業者によって、献立が違うのか。また、味の違いのチェックをしているのか。
- ◆事務局 ・全校同じ献立である。調味料の量まで指定している。
- ◇委員 ・引っ越してきた子から、給食がおいしくないとの意見があったようだが、地域によって味つけは違う。委託だからおいしくないとは一概にはいえない。

- ◇委員 ・1年生と6年生では口の中の状態が全然違う。献立を変えるなど、考慮はできないか。
- ◆事務局 ・4月は新1年生に考慮した献立としているが、よく噛むことも必要であることから、献立は変えずに学年に応じてよく噛んで食べる指導を行うようにしている。

事務局：

北九州市教育委員会事務局学校支援部学校保健課

TEL 093-582-2381